

FietsVAK2008(自転車商談会)及びオランダの電動アシスト自転車市況

1. FietsVAK2008(自転車商談会)

オランダ国内販売業者向け標記自転車商談会が、2008年1月27日(日)～29日(火)の3日間、アーネムより南西へ約50km程離れたロスマレンの展示場で開催された。

【FietsVAK2008】

主催： rai vereniging, AMSTERDAM RAI
会場： AUTOTRON ROSMALEN
会期： 2008年1月27日(日)～29日(火)
開催時間： 27・28日 10:00～18:00、29日 10:00～17:00
使用ホール： ExpoDome 1階および2階回廊
入場者数： 4,000人(昨年4,000人)
出展社数： 68社(昨年50社)



展示会場外観



1階展示ホール

同商談会は、昨年から開催場所をロスマレンという町に移した。他イベントと併催するなど主催者側も集客に努力してきたが、オランダでのユーザーショーは、毎年10月中旬にユトレヒトで開催される「BIKE MOTION BENELUX」が盛況となったため、この展示会は、国内販売業者だけが集う商談会としての開催となった。ロスマレンは、公共交通機関の接続はあまりよくない町なので、殆どの参加者は自動車で来場していた。

開催時期も従来の3月中旬では既に需要期に入ってしまうため、昨年の会場移転と共に1月下旬開催に早めた。

同商談会は、オランダ国内販売店が主な対象であり、自転車は今シーズン市場に供給する「シティ車」(2006年車種別売上比率59%)を中心に展開されていた。

1階メインホールでは、バタバスとガゼレの2大メーカーのブースを筆頭に、スパルタ、コガ、ジャイアントなどの完成車メーカーがシティ車やトレッキング車を中心に展示を行っている中で、電動アシスト車の展示も目立った。MTBやロードレーサーなどのスポーツ車の展示は、わずかであった。部品・付属品関連ではシマノのほか、リムのリジダ、タイヤのシュ

フルベヤやコンチネンタル、鍵の ABUS が見られ、幅広くアクセサリやウエア類を扱う卸業者もあり、商談会最終日の午後にもかかわらず多くの自転車業者が詰めかけていた。

更にホール 2 階の回廊部分には、主に電動スクーターの出展社が集まっていた。同時に同展優秀賞に選ばれた商品が展示され、完成車ではコガの電動アシスト車(詳細は後記参照)、ジャイアントのトレッキング車(小売価格 1,399 ユーロ 216,845 円)、バタバスのシティ車(小売価格 799 ユーロ 123,845 円)、部品関連ではバタバスの前フォーク、シマノの変速機、リジダのチューブレス・システム、ポントレガーの前フォークサスペンションなどである。それら多くが、シティ車やトレッキング車に関連した高付加価値商品である点も特徴的であった。

なお、来年は 2009 年 1 月 25 日～27 日の間、同会場にて開催予定である。



バタバス



ジャイアント



ガゼレ



ガゼレの運搬用車

2. オランダの電動アシスト自転車市況

RAI(オランダ車輛工業会)によると、2007 年の電動アシスト自転車の販売台数は 115,000 台と 2006 年の 40,000 台より大幅増となり予測を上回る好調な結果となった。その販売チャンネルの約 8 割は自転車小売専門店が占め、小売専門店の平均販売価格は 1,700 ユーロ(263,500 円)であった。同工業会では今年も電動アシスト車の売上げは堅調に推移すると予

想しており、2008 年は販売台数 150,000 台、小売専門店の平均販売価格は 1,900 ユーロ (294,500 円) に達すると見込んでいる。

今後の電動アシスト自転車については、国内メーカーの高価格・高品質車と安価な輸入車の二極化が進むものと同工業会では見ている。国内高級品メーカーのコガは、最新の電動アシスト車に、バッテリーが下パイプの下部にすっきり収まるデザインを採用し、小売価格はダイヤモンドフレームタイプで 2,999 ユーロ (464,845 円) とかなりの高価格設定をしている。また、スパルタやガゼレも、バッテリー類をダウンチューブ内に収めるなど、各社が独自のデザインによる差別化を図っている。サドル下方の立パイプ付近にバッテリーを外付けする従来のデザインは、もはや外見上スマートなスタイルとは言えず、更に国内メーカー車の方がバッテリーの性能や品質面で優れているとの印象が消費者間に広まり、輸入車は既に古臭いイメージを持たれつつある。オランダの有力メーカーが独自デザインによる高品質の電動アシスト車を導入している今、国内メーカー車と輸入車の差は一層開くものと見られる。



オランダメーカーの電動アシスト車（左：コガ、右：スパルタ）

オランダの消費者が「品質」と「価格」どちらを選ぶか、同国市場での自転車小売専門店の販売シェア (2006 年業態別比率 78%)、平均販売価格 (2006 年 678 ユーロ 105,090 円) の両数値の高さを見れば明らかである。ユーザーは価格の安さを優先するのではなく、自転車小売専門店にて高品質な国内メーカーの電動アシスト車購入を希望するはずであると、近年の国内市場の好調ぶりを受け工業会担当者は自信を持っていた。

今後、オランダの電動アシスト自転車市場に進出を検討する場合、性能面だけでなく同国消費者の嗜好に十分留意し、従来とは一味違う独自性を打ち出し、他社との明確な差別化を図る必要が生じている。

以上

(デュッセルドルフ事務所)